

和泉市の現状についての 調査資料 〈概要〉

- 1.基礎調査
- 2.市民意向調査結果
- 3.まとめ

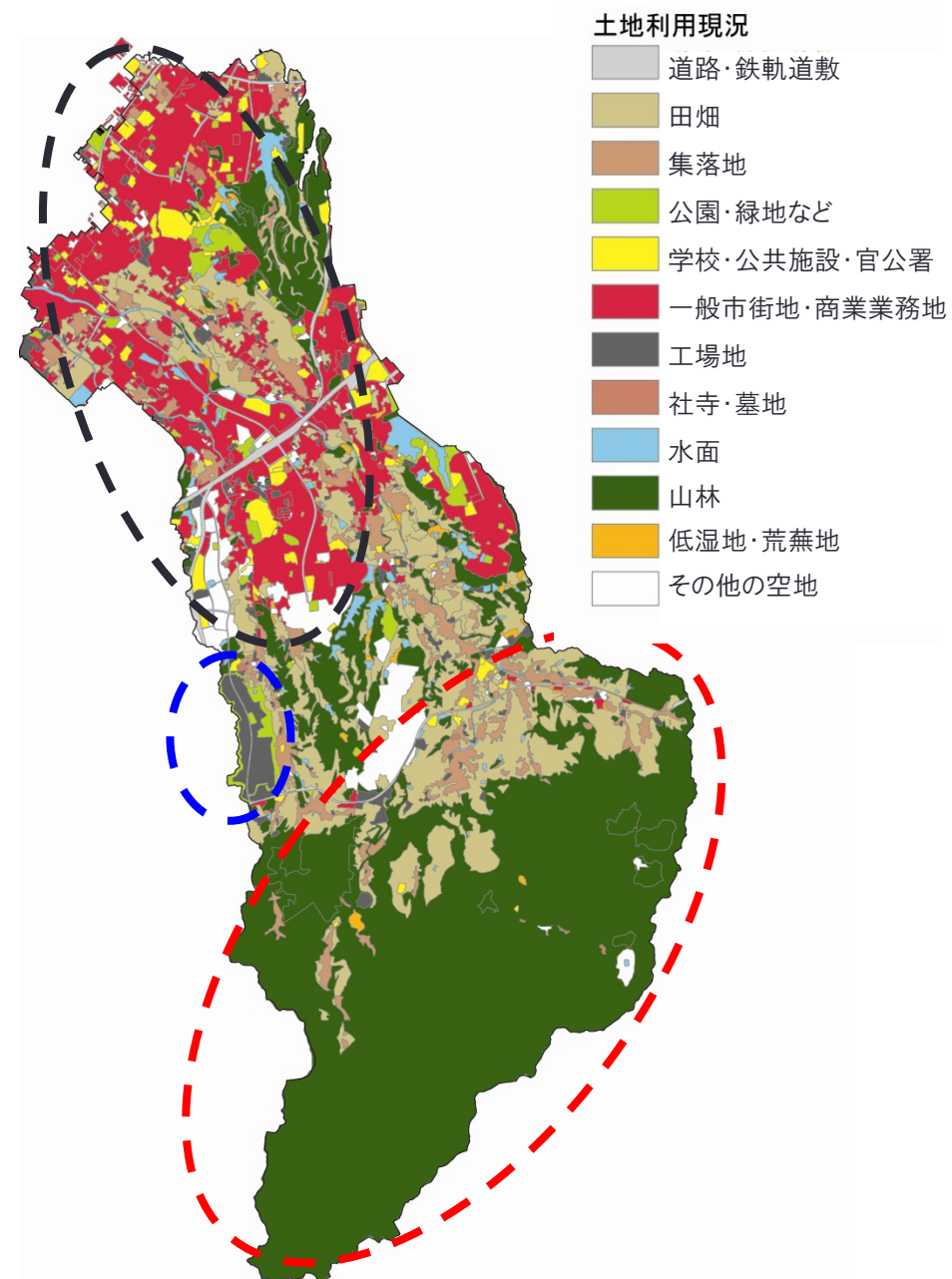
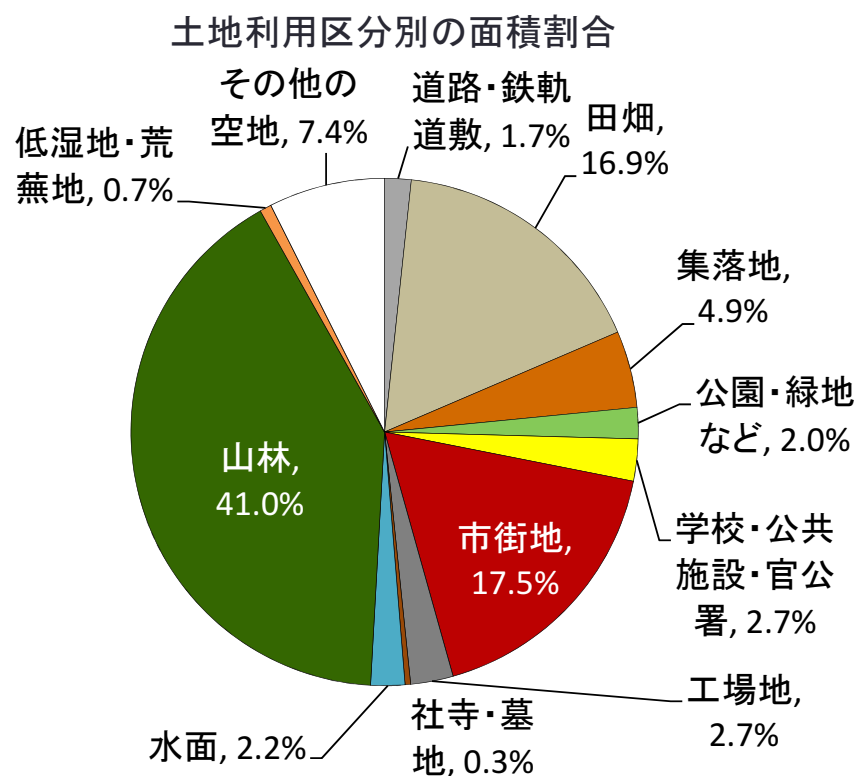
第3回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会
平成26年6月2日(月)13:00～

土地利用現況

〈特徴〉

* 北部、北西部、中部には広く市街地(赤)が形成

* 南部には山林が残る

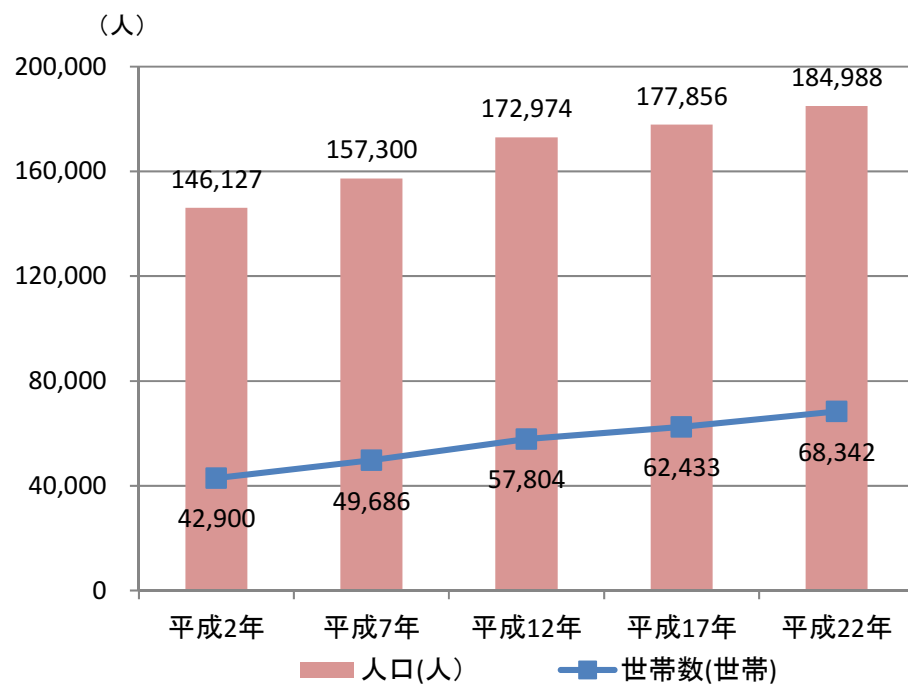


(出典：H22都市計画基礎調査)

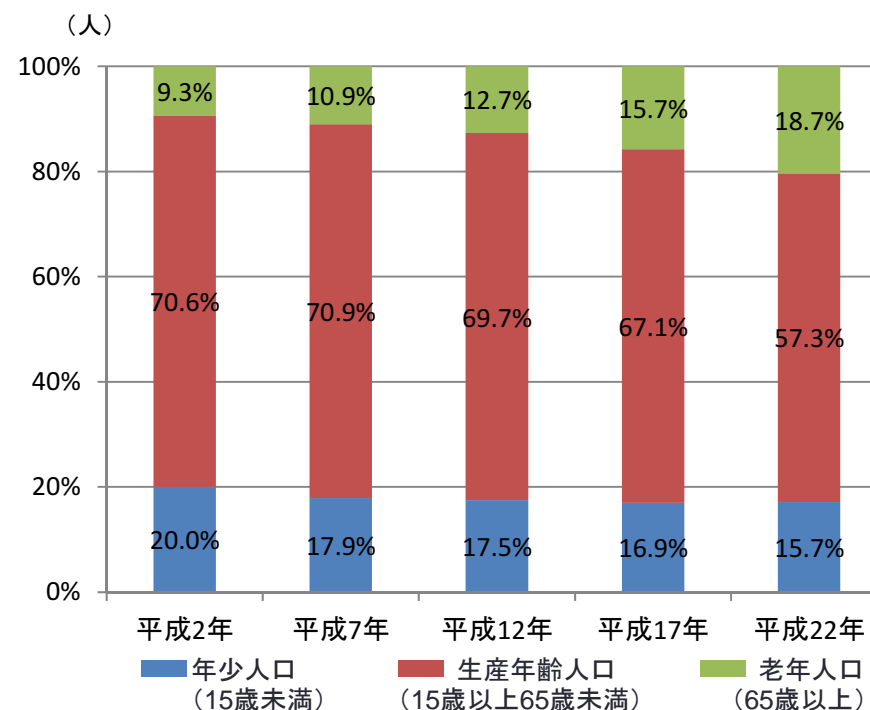
人口動向 1

- 人口・世帯数はともに増加傾向。
- 年齢3区分別で見ると、老年人口が増加していることから、**少子高齢化の傾向**にあることがわかる。

人口及び世帯数



年齢3区分別人口



(出典: 国勢調査)

人口動向 2

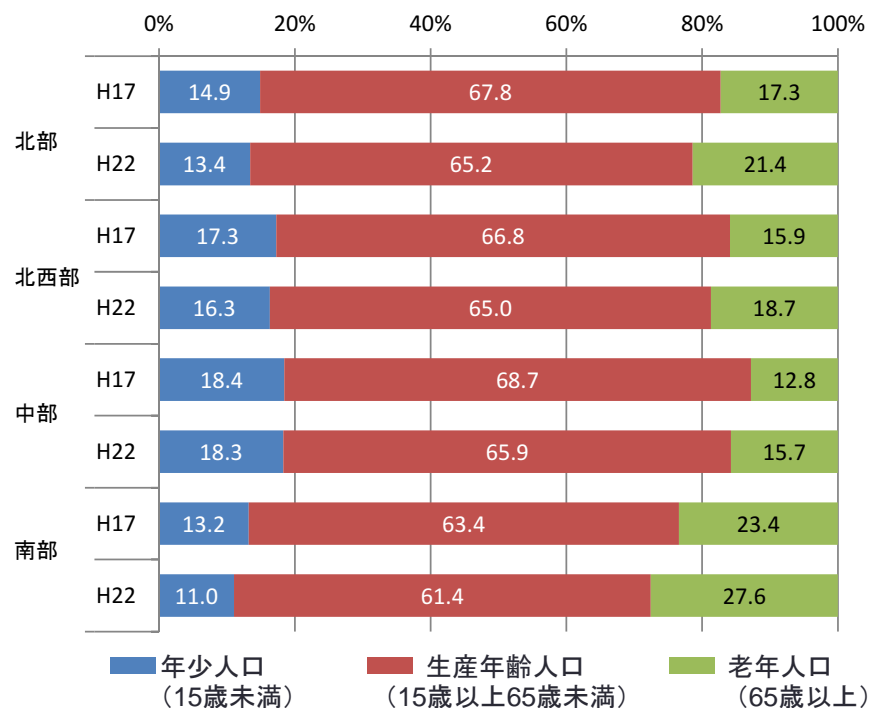
- 地域別では、北西部・中部で**増加傾向**、北部・南部で**減少傾向**を示している。
- 南部では、他の地域に比べて**少子高齢化の進行が目立つ**。

地域別の人口推移

区分	H12	H22	増減
北部	40,100	38,400	-4.2%
北西部	49,700	52,600	5.8%
中部	75,700	87,700	15.9%
南部	7,400	6,200	-16.2%
全市	172,900	184,900	6.9%

(数字は四捨五入)

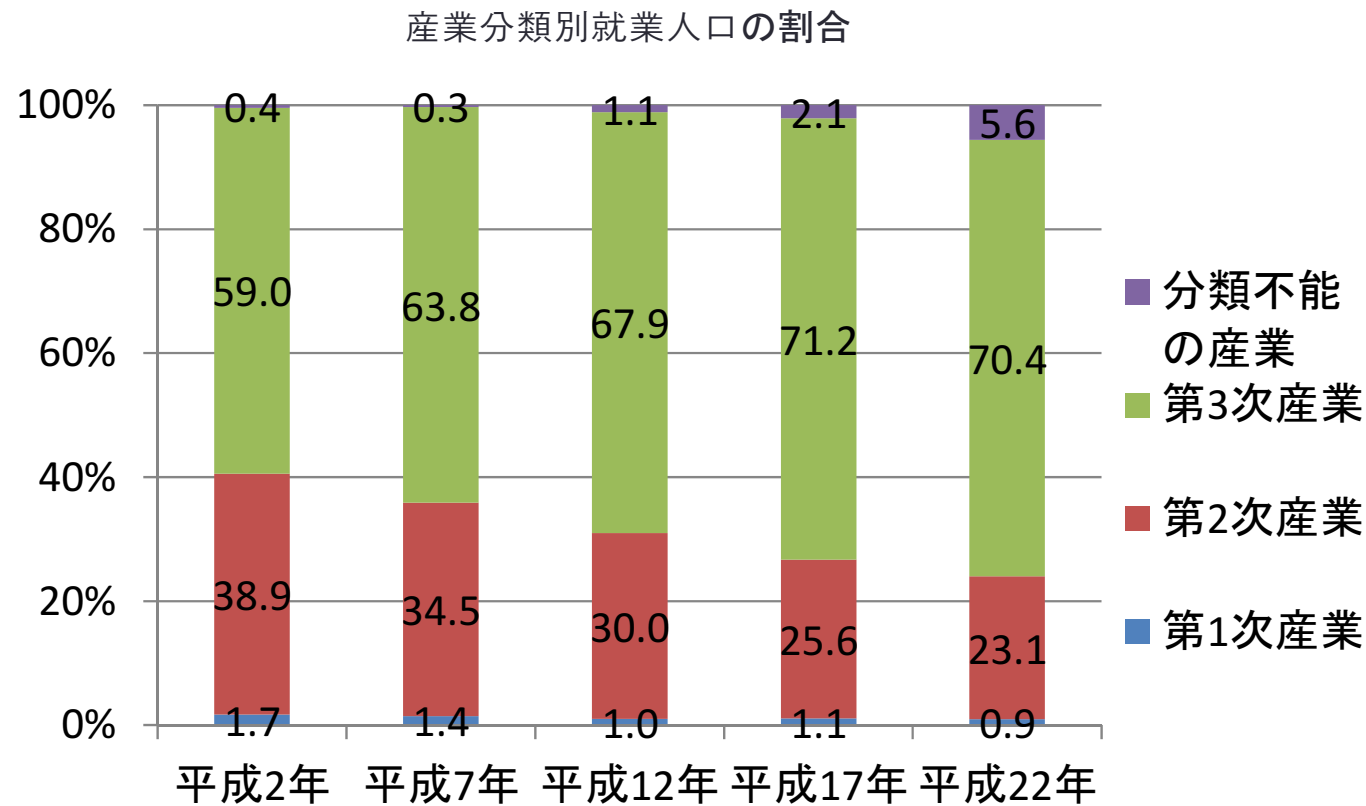
地域別・年齢3区分別人口の割合



(出典: 国勢調査)

産業動向 (1) 産業分類別就業人口

- 産業分類別に人口をみると、第3次産業への就業者が約7割を占めている。

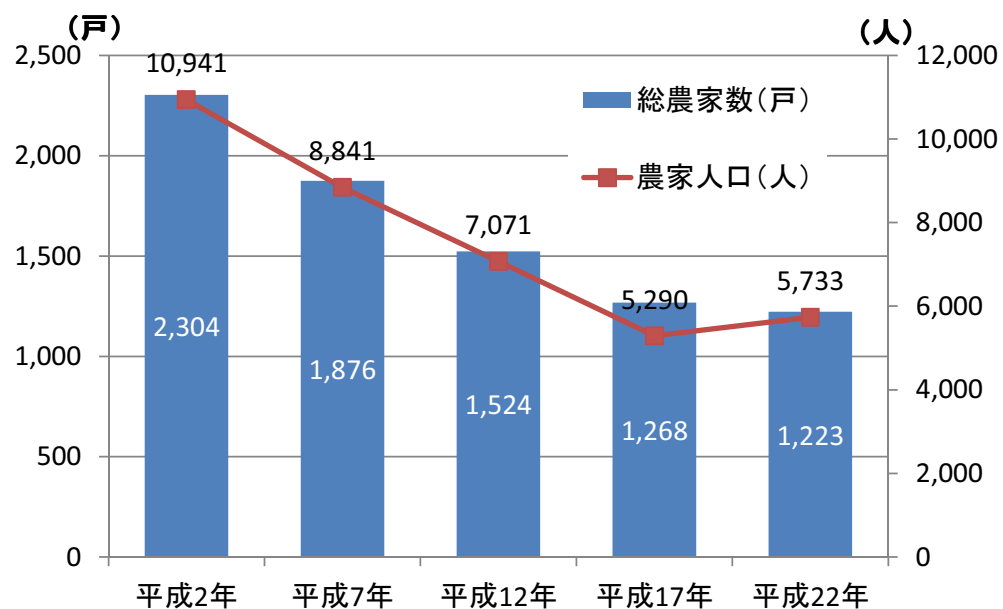


(出典:国勢調査)

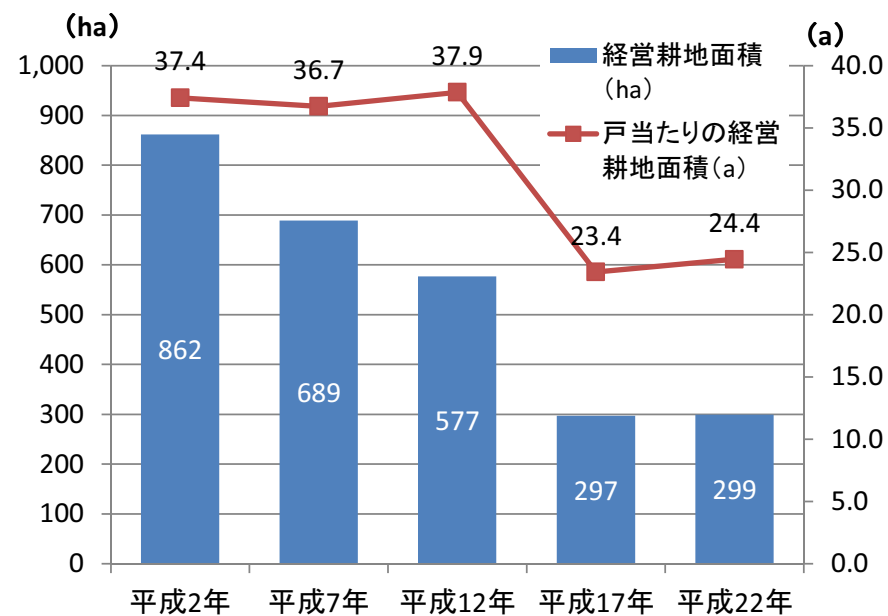
産業動向 (2) 農業

- 総農家数、農家人口、経営耕地面積ともに**減少傾向**を示している。

農家数と農家人口



経営耕地面積と戸当たりの経営耕地面積

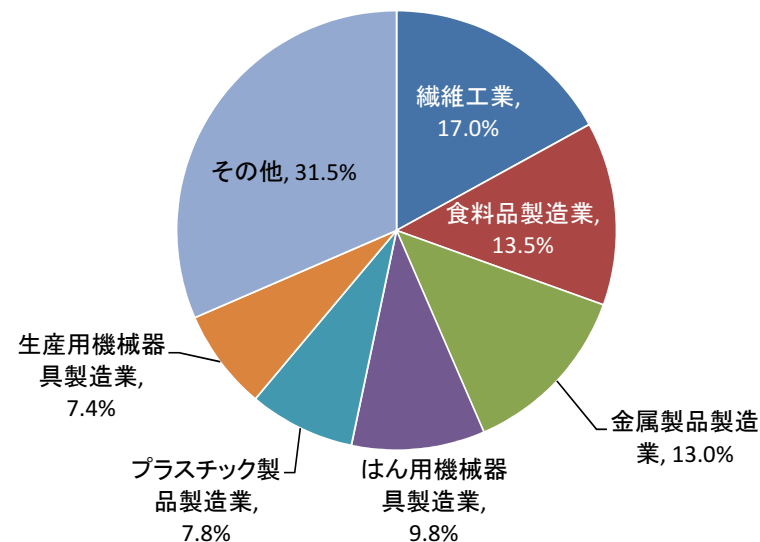


(出典:農林業センサス)

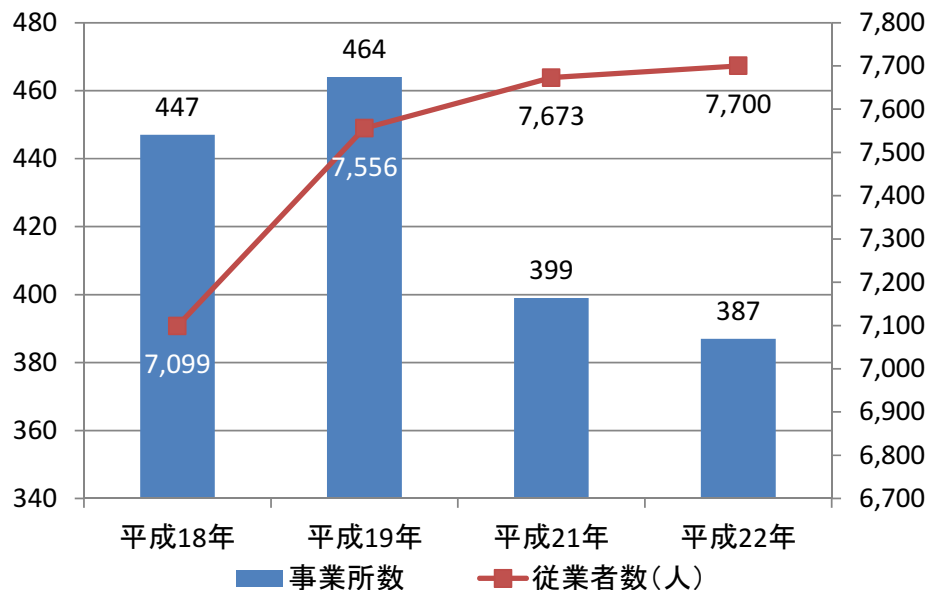
産業動向 (3) 製造業

- 製造品出荷額は繊維工業(17%)が最も多く、食料品製造業(13.5%)、金属製品製造業(13.0%)と続いている。
- テクノステージにも、上記業種の工場が立地している。

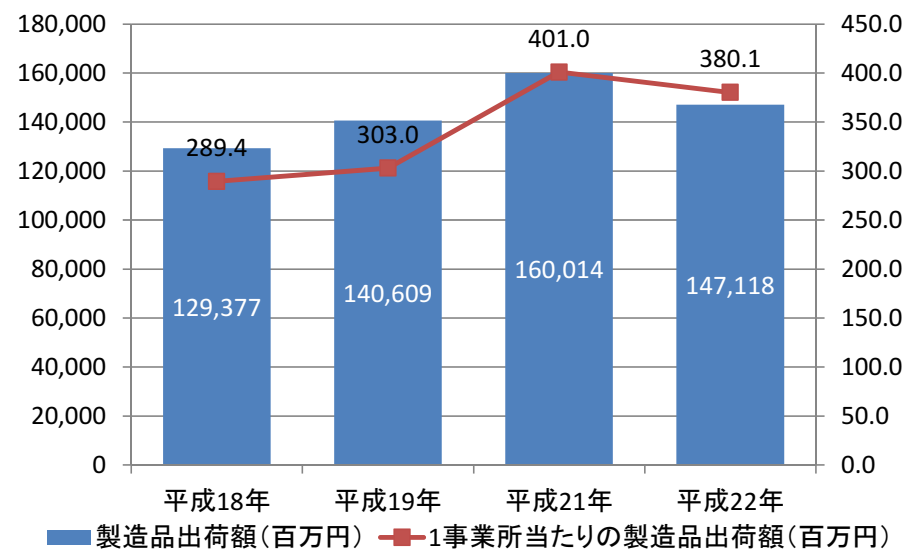
製造品出荷額の内訳(H22)



事業所数・従業者数



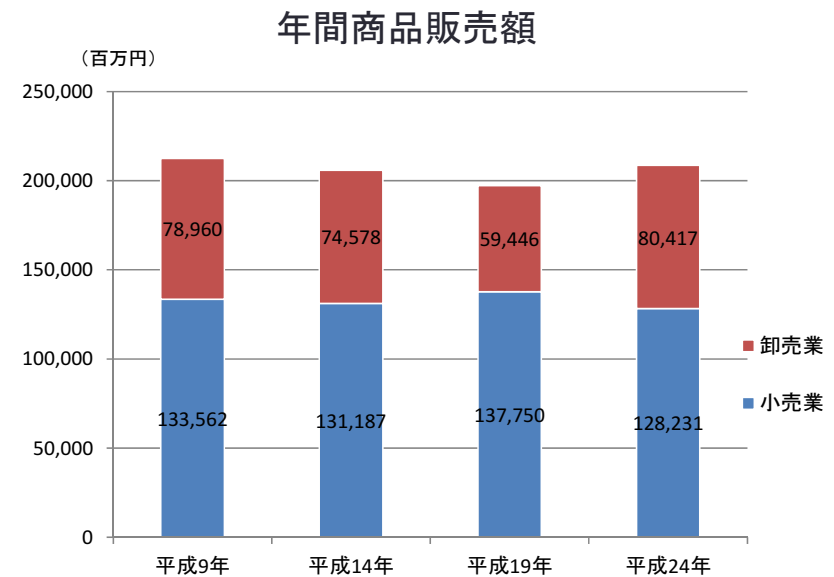
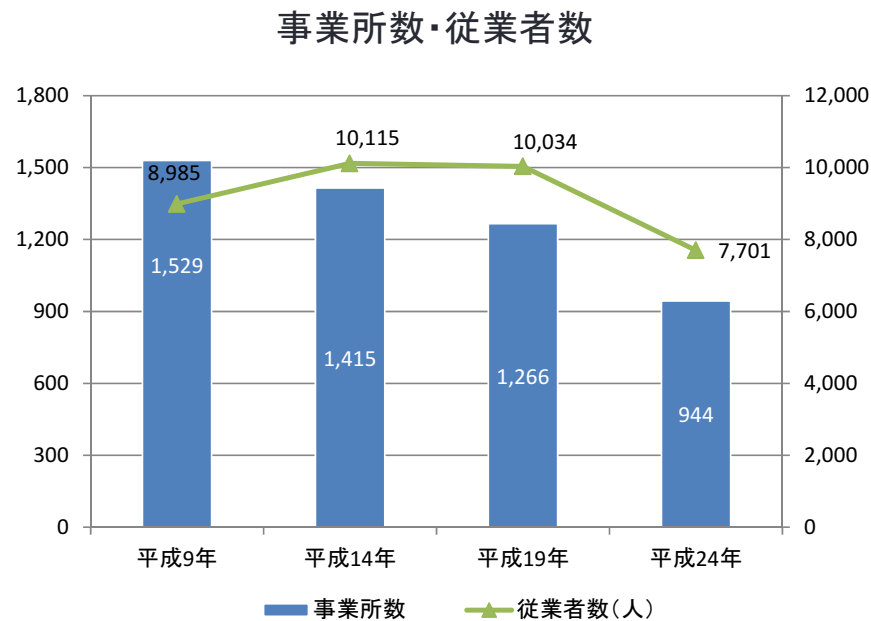
製造品出荷額など



(出典:工業統計調査)

産業動向 (4) 商業

- 商業全体として、事業所数と従業者数は減少傾向にあり、年間商品販売額も平成19年までは減少傾向にあったが、平成24年には増加に転じた。
- 小売業・・・事業所当たりの従業者数や年間販売額は増加している。
- 卸売業・・・事業所数、従業者数が減少、年間商品販売額は大きく増加。



(出典: 商業統計など)

開発動向 – 開発許可

- 許可数・・・平成19年度から平成24年度までの6年間で計260件
- 面積・・・106.1ha
- 主な用途は宅地系の許可であり、約8割が市街化区域内での許可となっている。

開発許可動向

(単位：件、ha)

	宅地系（特定工作以外）				その他（特定工作）				計	
	市街化区域		市街化調整区域		市街化区域		市街化調整区域		件数	面積
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
H19年度	47	23.5	7	0.6	0	0.0	1	7.4	55	31.5
(平均面積：㎡)	4,995.1		799.9		-		74,457.2		5,724.1	
H20年度	36	15.3	10	0.5	0	0.0	0	0.0	46	15.8
(平均面積：㎡)	4,252.8		525.7		-		-		3,442.5	
H21年度	39	12.5	7	0.3	0	0.0	0	0.0	46	12.8
(平均面積：㎡)	3,205.1		428.6		-		-		2,782.6	
H22年度	27	12.9	6	0.2	0	0.0	0	0.0	33	13.1
(平均面積：㎡)	4,773.9		315.9		-		-		3,963.3	
H23年度	41	22.3	6	0.5	0	0.0	0	0.0	47	22.8
(平均面積：㎡)	4,744.9		820.7		-		-		4,849.7	
H24年度	29	10.0	4	0.1	0	0.0	0	0.0	33	10.1
(平均面積：㎡)	3,465.1		323.0		-		-		2,908.0	
計	219	96.5	40	2.2	0	0.0	1	7.4	260	106.1
(平均面積：㎡)	4,405.8		546.4		-		74,457.2		4,081.5	

(出典：市資料)

開発動向 – 農地転用

- 許可及び届出件数は、平成18年から平成24年までの7年間で994件(58.2ha)で、年平均では142件となっている。
- 転用目的は宅地系が46%(486件、25.5ha)で半数近くを占めている。

農地転用状況

(単位：件、ha)

	許可及び届出計						許可又は届出以外 面積
			うち市街化区域		うち1000㎡以上		
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	
H18年	167	13.1	134	7.3	39	10.2	1.8
(平均面積:㎡)	785.6		547.9		2,609.8		—
H19年	212	13.9	167	7.9	30	6.4	0.5
(平均面積:㎡)	655.2		473.1		2,133.3		—
H20年	162	9.3	105	5.3	17	4.5	0.1
(平均面積:㎡)	574.1		504.8		2,647.1		—
H21年	121	5.6	89	4.1	17	2.6	1.2
(平均面積:㎡)	462.8		460.7		1,529.4		—
H22年	104	6.1	89	4.1	13	3.4	0.1
(平均面積:㎡)	586.5		460.7		2,615.4		—
H23年	107	5.4	92	4.5	22	3.2	0.0
(平均面積:㎡)	507.2		492.1		1,454.5		—
H24年	121	4.8	92	3.9	22	3.2	0.0
(平均面積:㎡)	396.7		423.9		1,454.5		—
計	994	58.2	768	37.1	160	33.5	3.7
(平均面積:㎡)	585.5		483.1		2,093.8		—

(出典：市資料)

都市計画等の現況

(1) 区域区分及び地域地区の指定状況

- 市全域が都市計画区域
- 市街化区域と市街化調整区域に区分（面積割合は約3:7）
- 準工業地域が649haと最も多く、市街化区域内の約25%を占めている。

市街化区域・市街化調整区域の指定状況

区分	市街化区域	市街化調整区域
面積	2,601ha	5,897ha

用途地域の指定状況

用途地域	面積 (ha)	割合
第一種低層住居専用地域	452	17.4%
第一種中高層住居専用地域	542	20.8%
第二種中高層住居専用地域	91	3.5%
第一種住居地域	534	20.5%
第二種住居地域	139	5.3%
準住居地域	24	0.9%
近隣商業地域	30	1.2%
商業地域	37	1.4%
準工業地域	649	24.9%
工業専用地域	104	4.0%
合計	2601	

都市計画等の現況 (2) 都市施設

- 都市公園は、平成24年度で293箇所(139.94ha)
人口1人当たりの公園面積は7.5m²/人となっている。
(平成24年度時点、大阪府平均は5.3m²/人)
- 市街化区域内の下水道普及率は84.4%、水洗化率は89.3%
となっている。(平成23年度時点)

都市公園の計画面積等

	総数		住区基幹公園		都市基幹公園		その他の公園緑地		人口1人当たりの 公園面積(m ² /人)
	園数	面積(ha)	園数	面積(ha)	園数	面積(ha)	園数	面積(ha)	
平成19年度	262	128.24	220	53.3	2	14.4	40	60.5	7.2
平成20年度	277	131.91	232	54.8	2	14.7	43	62.4	7.3
平成21年度	281	133.20	235	55.3	2	14.7	44	63.2	7.2
平成22年度	287	133.51	237	55.4	2	14.7	48	63.4	7.1
平成23年度	289	137.30	237	57.9	2	14.7	50	64.7	7.4
平成24年度	293	139.94	241	60.5	2	14.7	50	64.7	7.5

(出典：公園緑地課)

下水道普及状況(H23年度)

行政区域		実処理区域		C: 告示済人口	D: 水洗化人口	普及率 (B/A)	水洗化率 (D/C)
面積(ha)	A: 人口	面積(ha)	B: 人口				
8,498	187,334	2,062	158,092	154,314	137,876	84.4%	89.3%

(出典：上下水道部経営総務課)

都市計画等の現況 (3) 交通

〈平成17年度から平成22年度にかけての交通量の変化〉

- 国道170号(岡町)で約7%**減少**
- 内陸部をつなぐ国道480号(和田町)では、約50%**増加**
- 富田林泉大津線(阪本町)で約15%**増加**

交通量調査結果

(台)

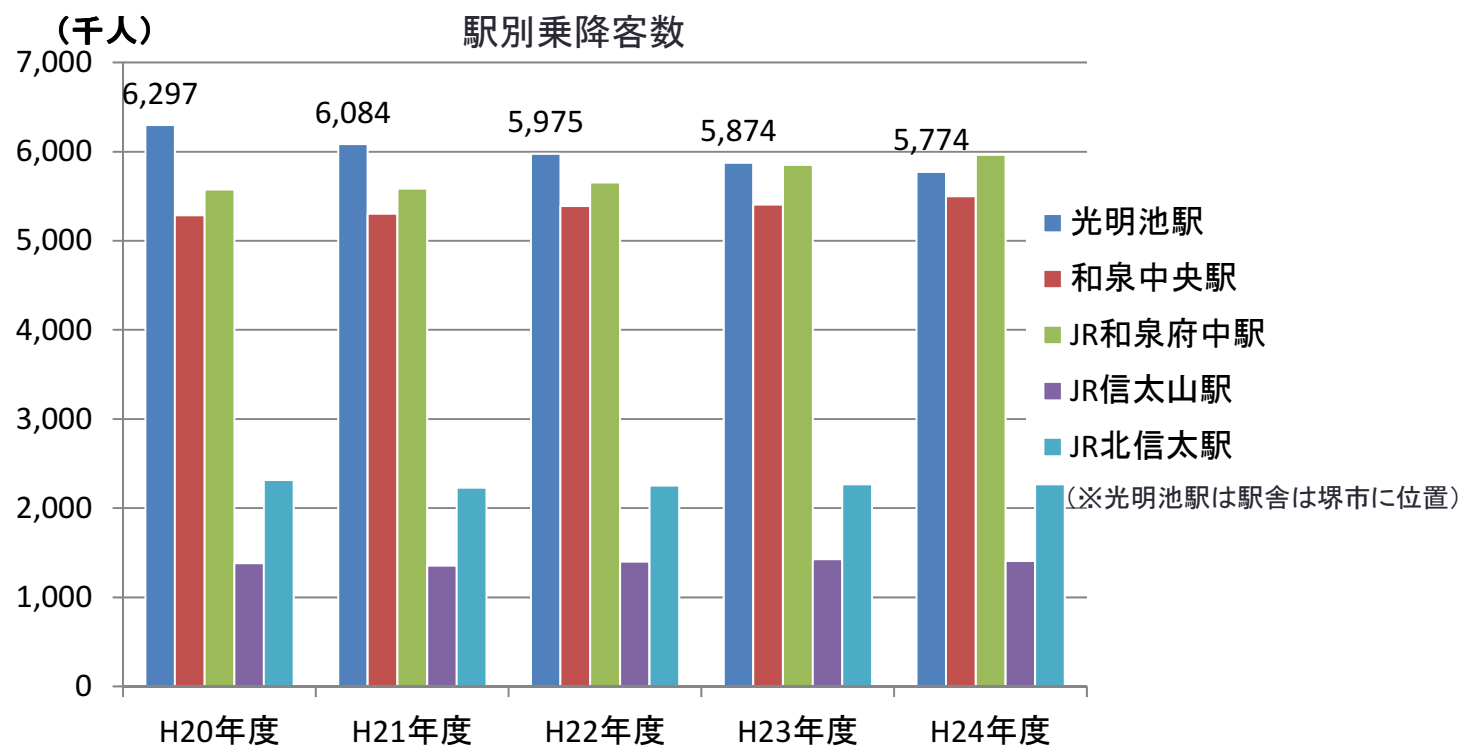
路線名	調査地点		昼間12時間交通量		H22/H17 増減率
			平成22年度	平成17年度	
国道170号	A	岡町	14,585	15,640	-6.7%
国道480号	B	和田町	9,840	6,630	48.4%
大阪和泉泉南線	C	和気町	6,072	9,762	-37.8%
富田林泉大津線	D	阪本町	5,621	4,880	15.2%
富田林泉大津線	E	池上町	6,199	—	—
父鬼和気線	F	春木川町	3,720	3,956	-6.0%
父鬼和気線	G	寺門町	7,899	7,610	3.8%

(出典:道路交通センサス※)

※道路交通センサス:日本全国の道路と道路交通の実態を把握し、道路の計画や、建設、管理などについての基礎資料を得ることを目的として、全国的に実施している統計調査。

都市計画等の現況 (4) 鉄道

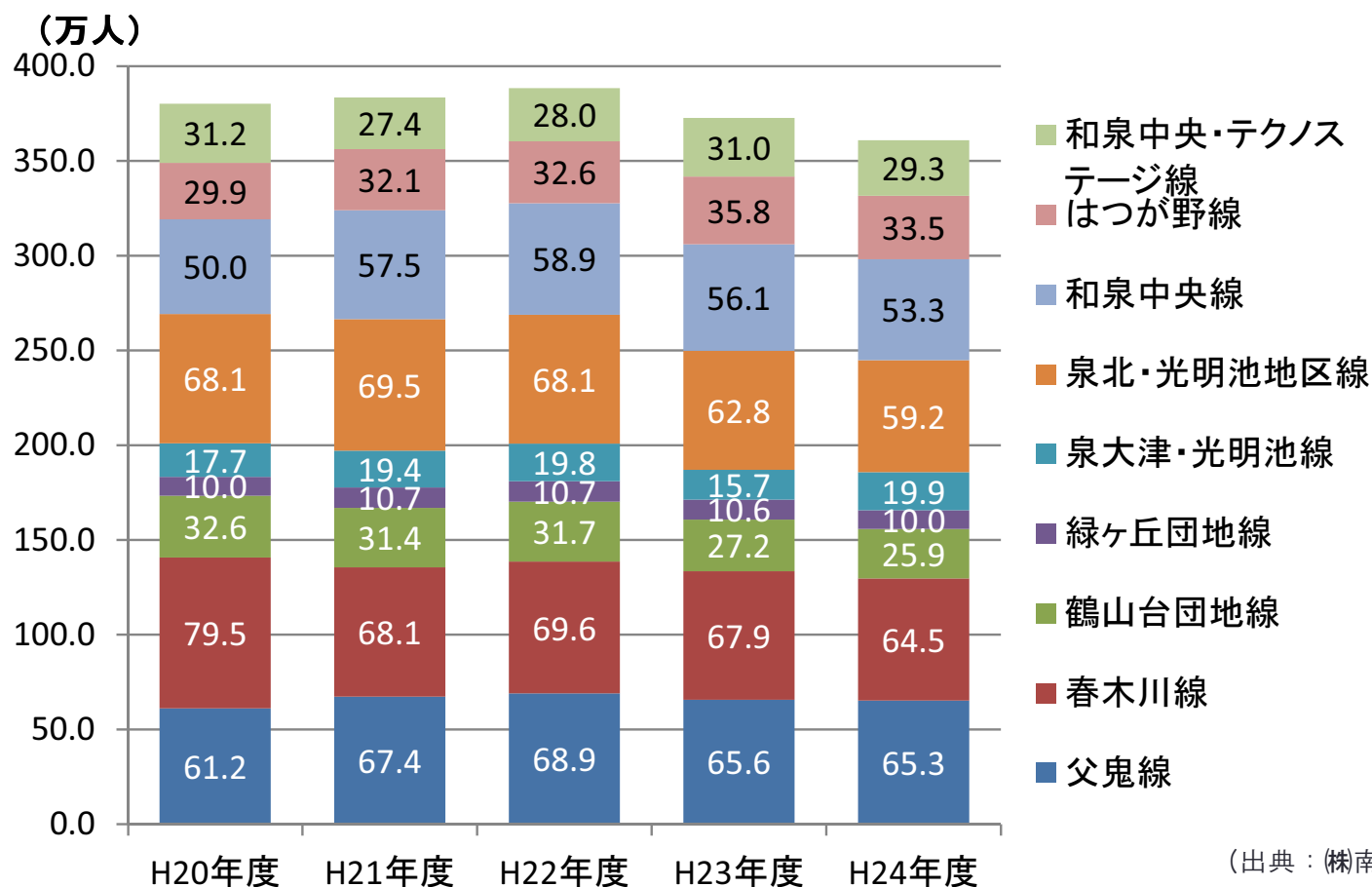
- 泉北高速鉄道、JR阪和線ともに約30分で大阪市内にアクセスが可能となっている。
- 利用者数は和泉中央駅、JR和泉府中駅で**増加傾向**にあるが、光明池駅では**減少傾向**にある。



(出典：大阪府都市開発(株)、西日本旅客鉄道(株))

都市計画等の現況 (5)バス

- バスの利用者数は、平成22年度をピークに減少傾向にある。
(平成24年度では10万人以上の落ち込み)

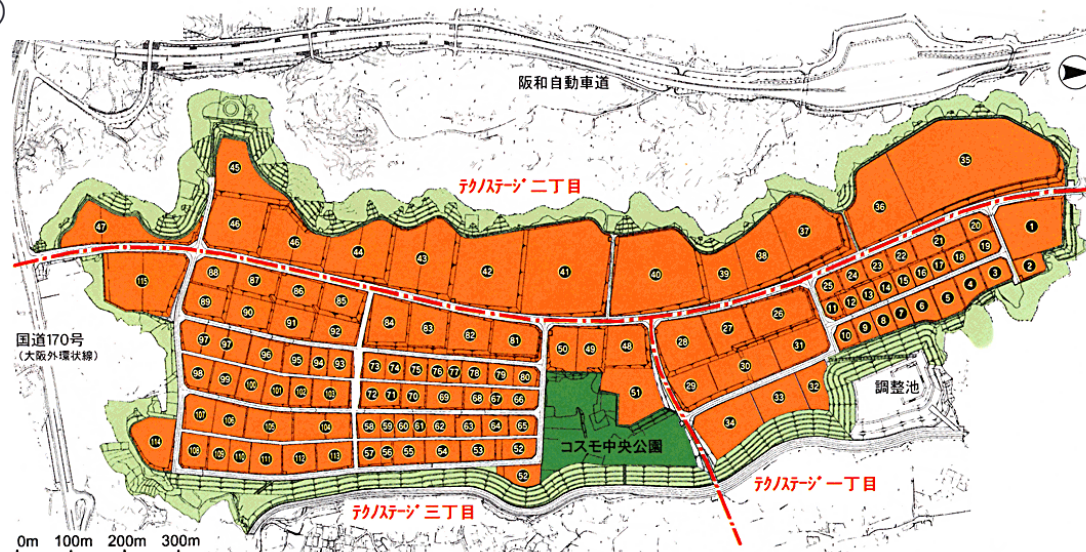


都市計画等の現況 (6)工業団地

- 市中部に工業団地・テクノステージ和泉が立地。
- 交通至便な環境から順調に企業誘致が進んでいる。
- 業種としては、製造業が多い。

テクノステージ和泉

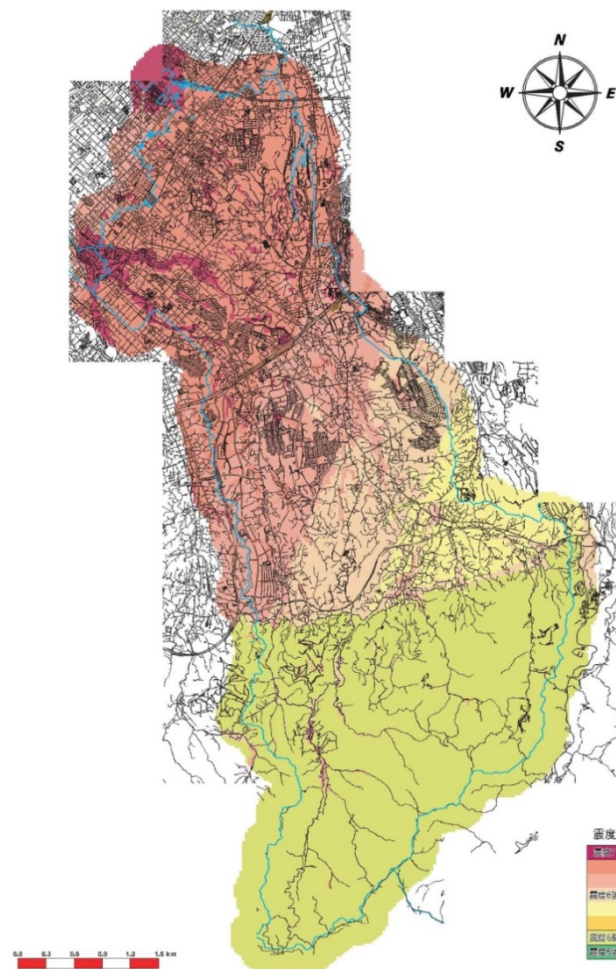
所在地 和泉市テクノステージ一～三丁目
開発地域 103.5ha
産業用地 面積 約61ha / 総区画 131区画
用途地域 工業専用地域
(建ぺい60% 容積率200%)



都市計画等の現況 (7)防災

- 北部から中部の住宅地が集積している市街地において、地震による揺れの予測が高くなっている。

地震ハザードマップ
3地震(上町断層帯地震、中央構造線断層帯地震、東南海・南海地震)の最大震度の重ね合わせ



(出典：和泉市地震ハザードマップ)

都市計画等の現況 (8)まちなみ

- 平地部は**旧街道沿い**に、山地部は槇尾川や松尾川などの**河川流域**に集落が形成され、それぞれの**地域の形成過程に基づく特徴あるまちなみ**が残されている。
- 和泉中央駅周辺の計画的に開発された住宅地では、新都心にふさわしいまちなみが生み出されている。
- 中部の既成市街地内に残存する農空間や南部に広がる山地の**緑は、潤いややすらぎを与える存在**となっています。



市民意向調査結果について

アンケート調査概要

- 調査対象
平成25年12月1日時点で市在住の18歳以上の男女3,000人
- 調査期間
平成26年1月30日～2月28日まで
- 回収状況
配布数 3,000通
回収数 869通
回収率 29.0%

※問1は、総合計画の達成度調査を目的として実施。

市民意向調査 問2

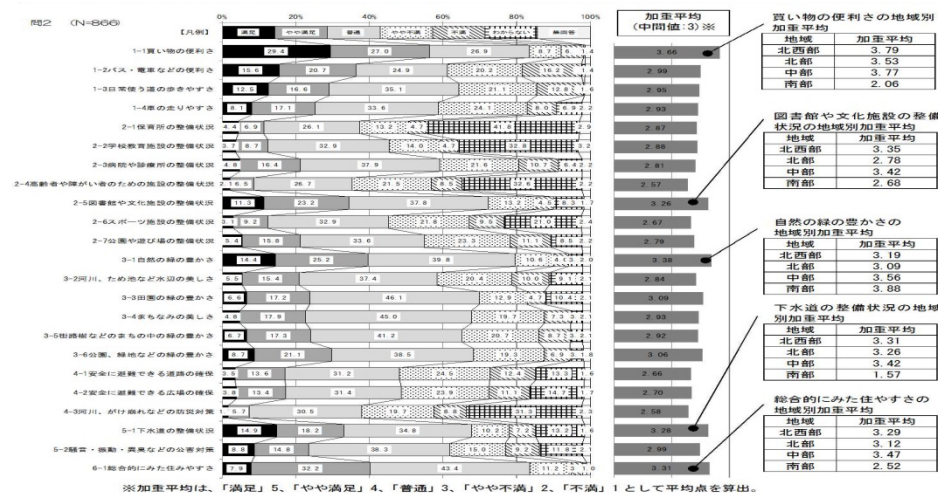
生活環境に関する満足度

評価が高いもの

- 買い物の便利さ
- 自然の緑の豊かさ
- 図書館や文化施設の整備状況
- 下水道の整備状況
- 田園の緑の豊かさ
- 公園、緑地などの緑の豊かさ

評価が低いもの

- 高齢者や障がい者のための施設の整備状況
- 河川、がけ崩れなどの防災対策
- 安全に避難できる道路の確保



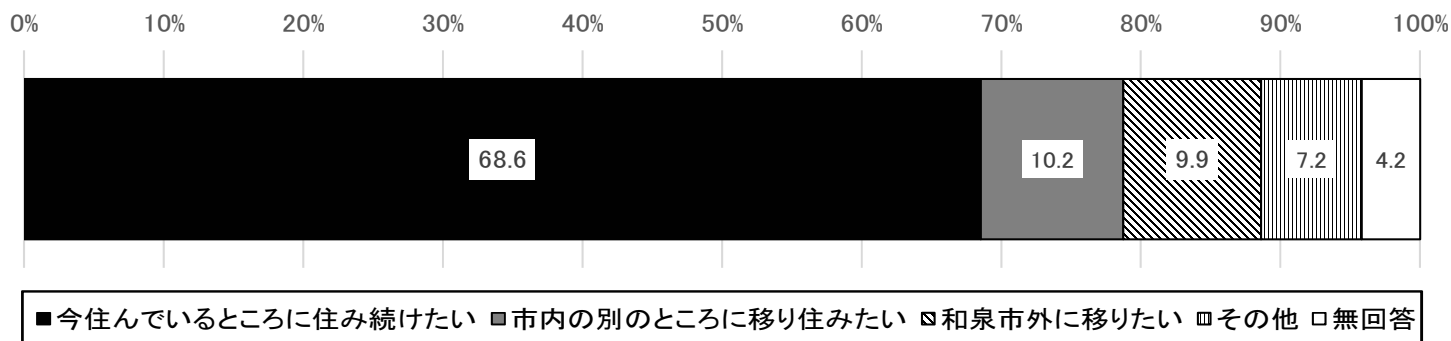
市民意向調査 問3

今後の居住意向について

約7割の方は、今後も「今住んでいるところに住み続けたい」と回答しています。

若い世代や南部地域の住民は定住意向がやや低い傾向にあります。

問3 (N=866)



※ 「今住んでいるところに住み続けたい」を選択した人の年代別割合

10代 33.3% 20代 52.8% 30代 64.8% 40代 63.8% 50代 63.3% 60代 76.7%
70代 75.4% 80代以上 86.1%

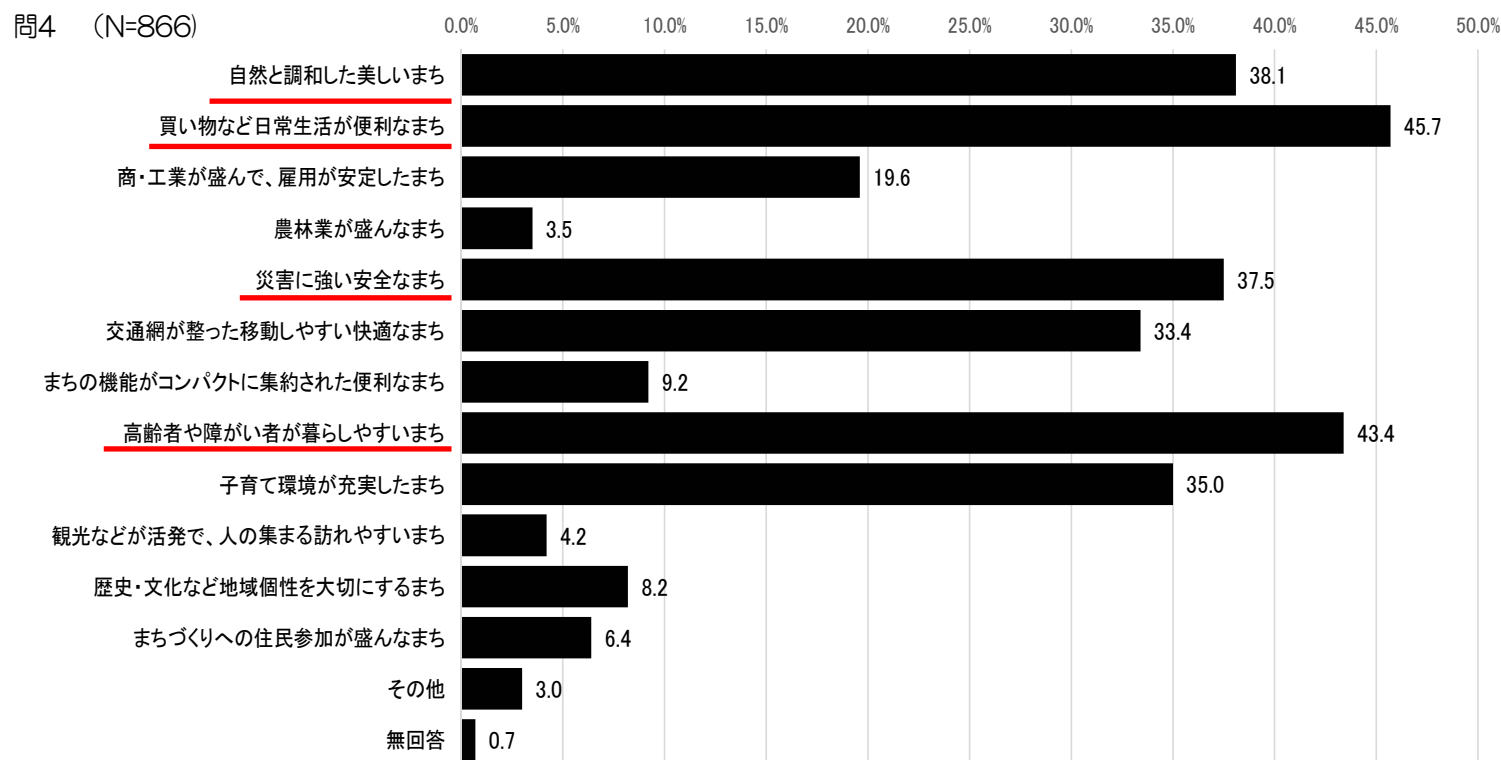
※ 「今住んでいるところに住み続けたい」を選択した人の地域別割合

北西部 67.6% 北部 73.3% 中部 71.6% 南部 58.8%

市民意向調査 問4

市全体の将来像

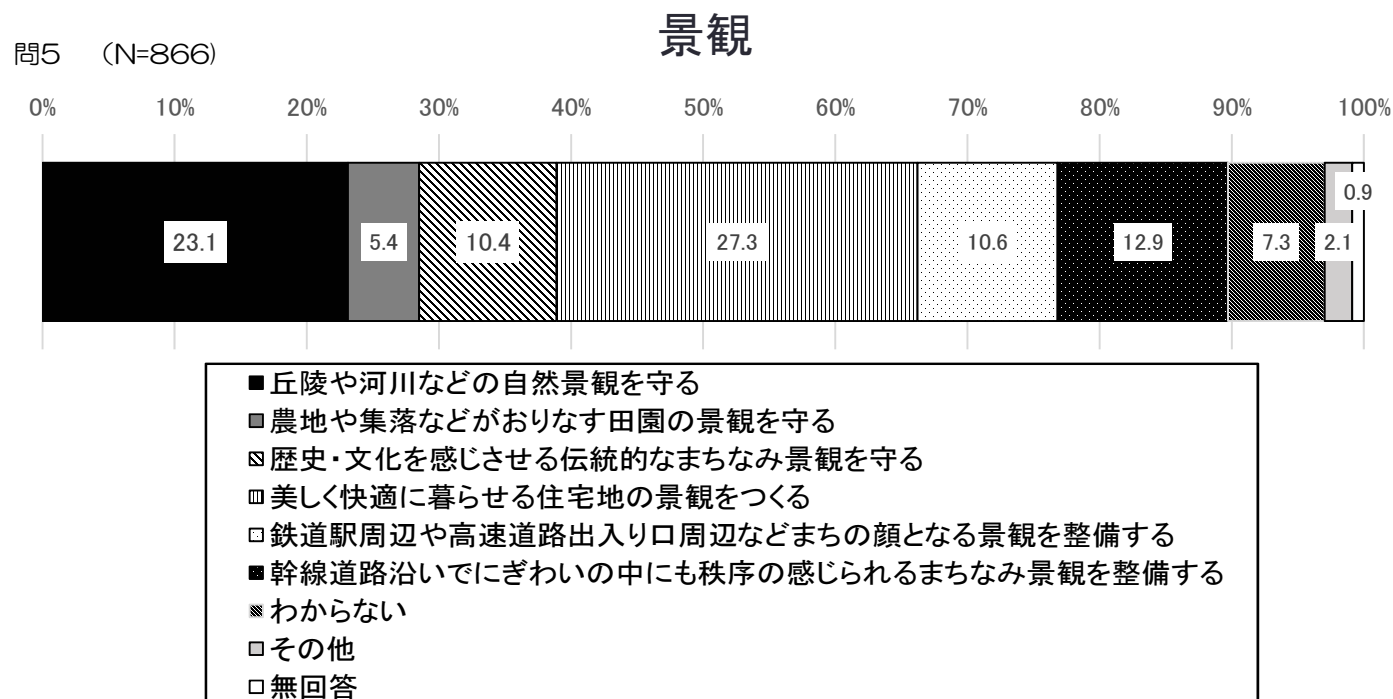
生活や交通の利便性、福祉、自然環境、防災等の充実が求められています。



市民意向調査 問5

風景や景観

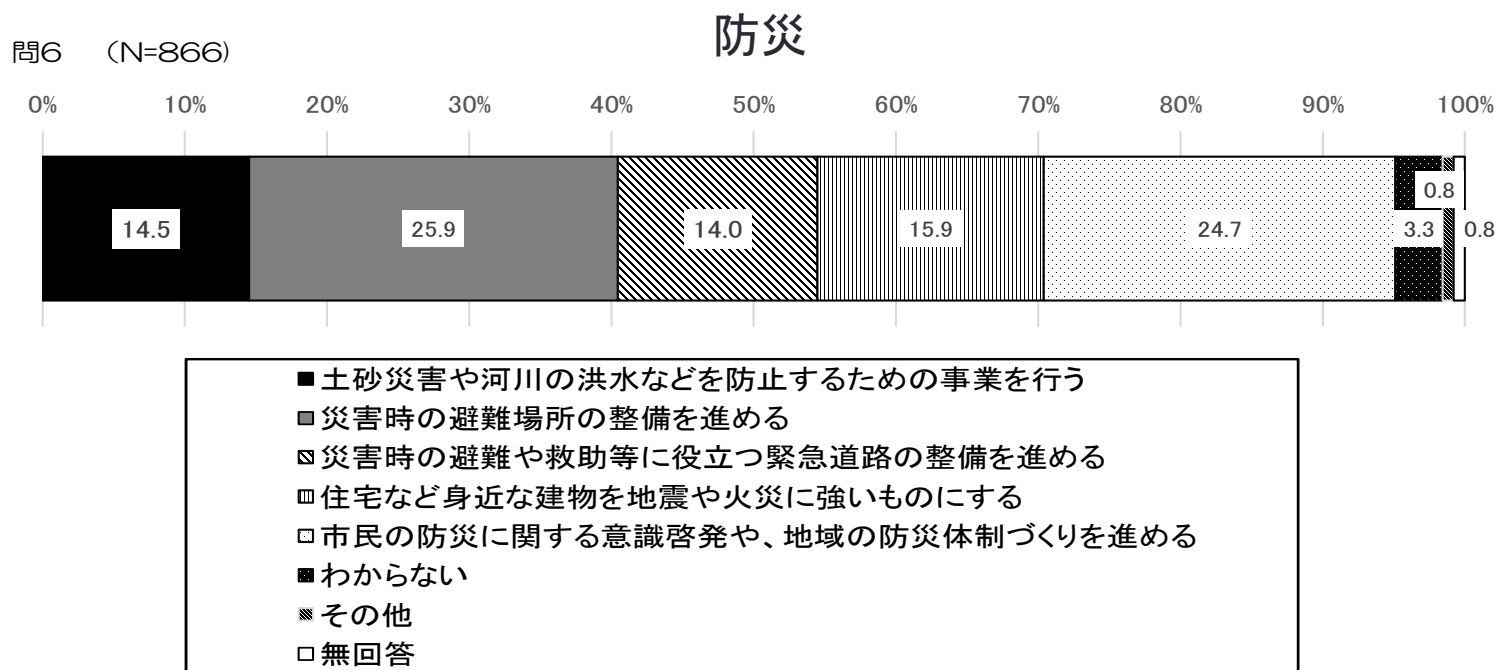
景観の分野では住宅地のまちなみや自然環境の景観保全が重要だと考えられています。



市民意向調査 問6

防災

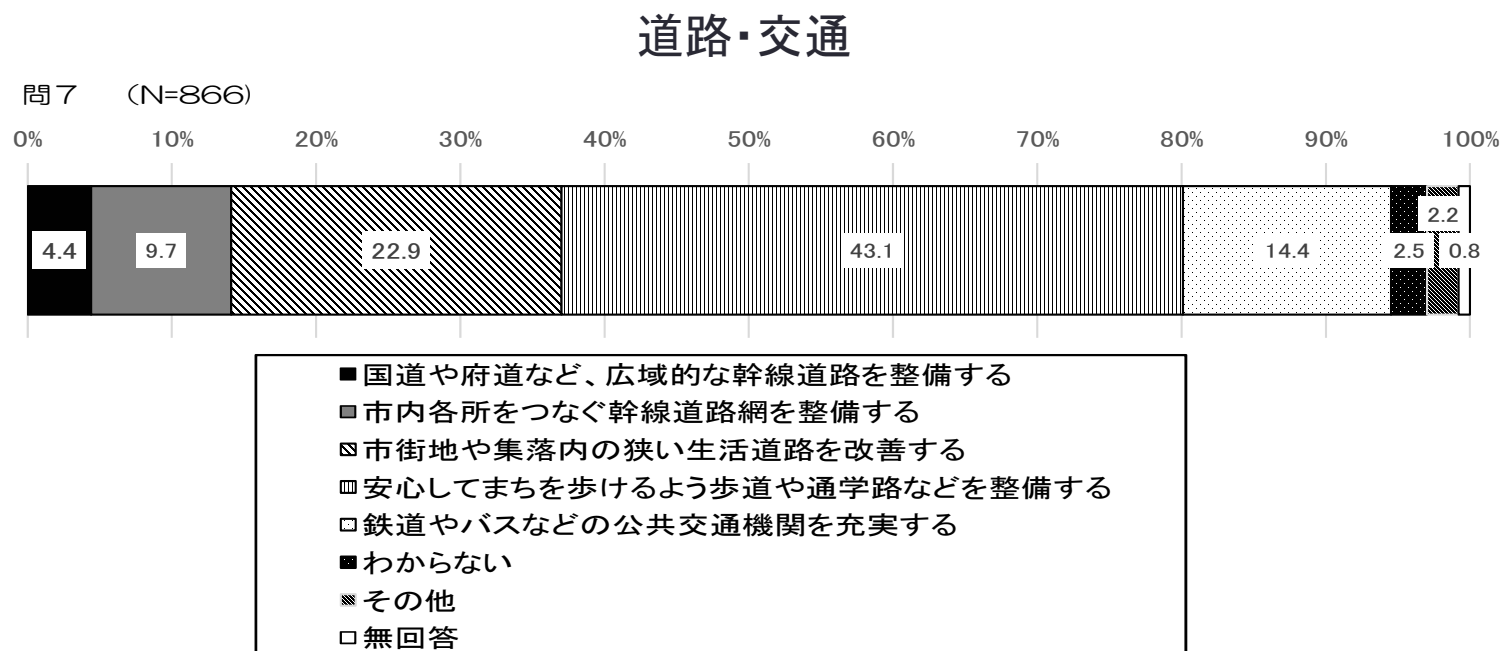
防災の分野では、「避難場所の整備」とともに「市民の意識啓発や地域の防災体制づくりを進める」などの回答が多く、ハード・ソフト両面での取組みが重要だと考えられています。



市民意向調査 問7

道路・交通

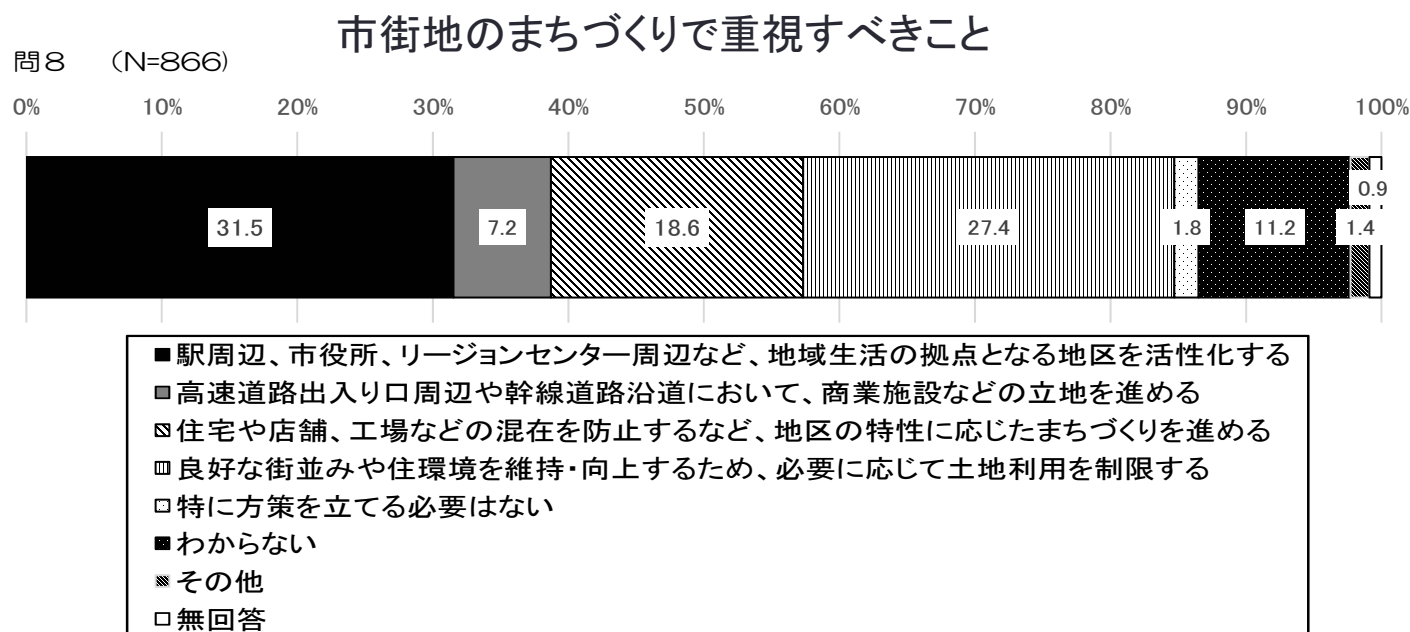
道路・交通の分野では幹線道路などの整備よりも、より生活に身近な通学路や生活道路への関心が高くなっています。



市民意向調査 問8

市街地全体のまちづくりで重視すべきこと

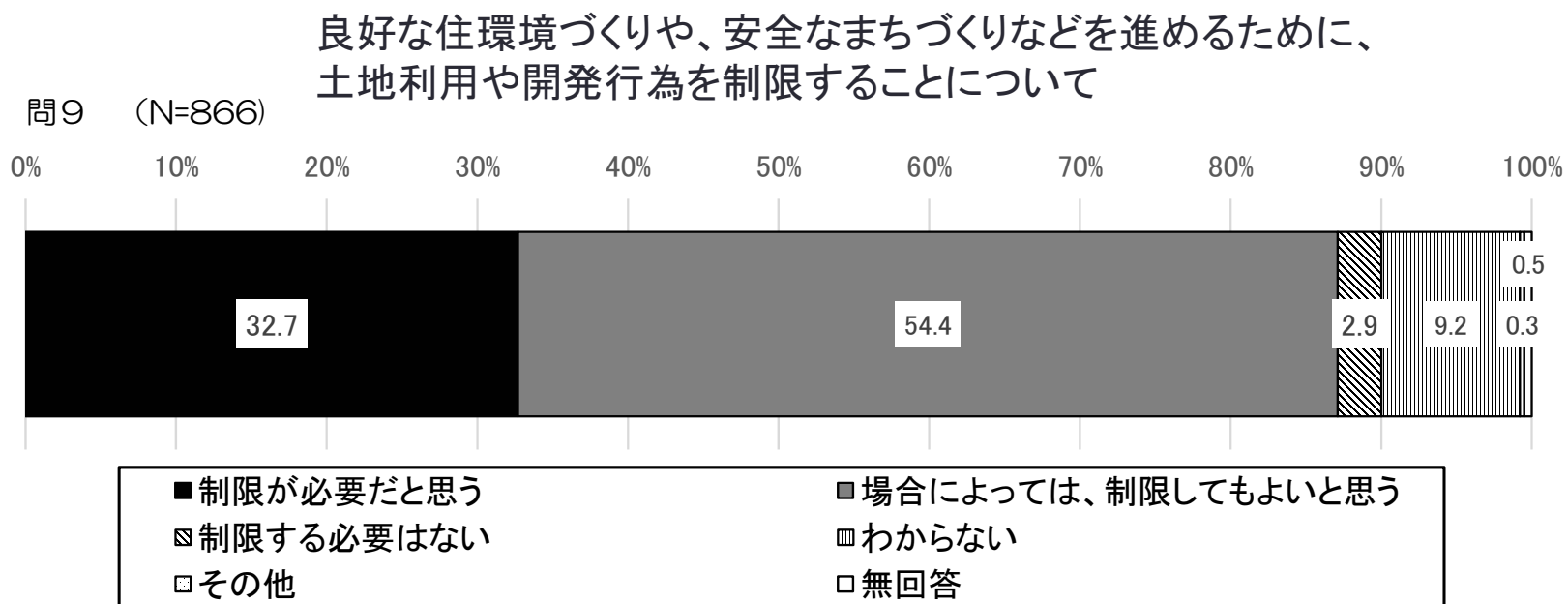
多くの建物が建ち並ぶ市街地のまちづくりでは、地域拠点の活性化と良好な住環境保全が求められています。



市民意向調査 問9

無秩序な開発防止や良好な住環境づくりについて

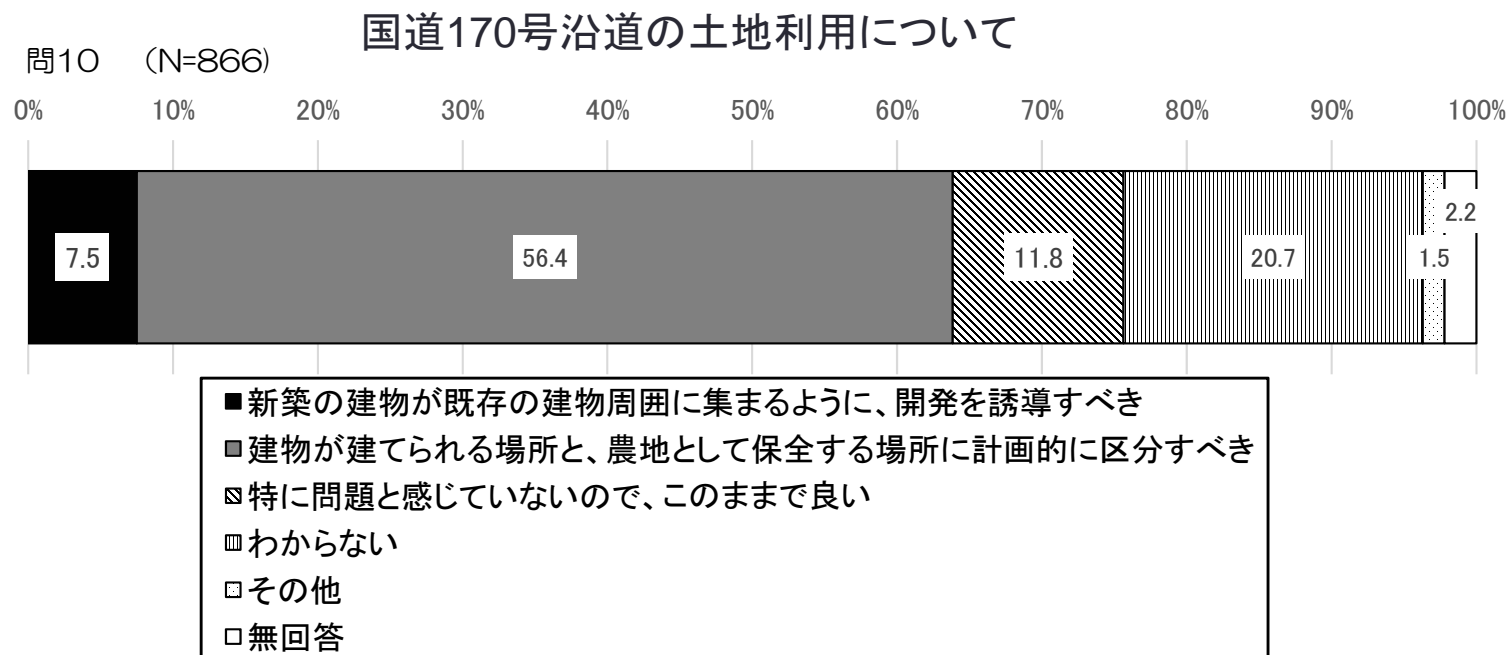
良好な住環境づくりや、安全なまちづくりなどを進めるため、土地利用や開発行為を制限することについては、何らかの制限が必要と考える方が約9割を占めています。



市民意向調査 問10

南部地域の広域幹線道路沿道の土地利用について

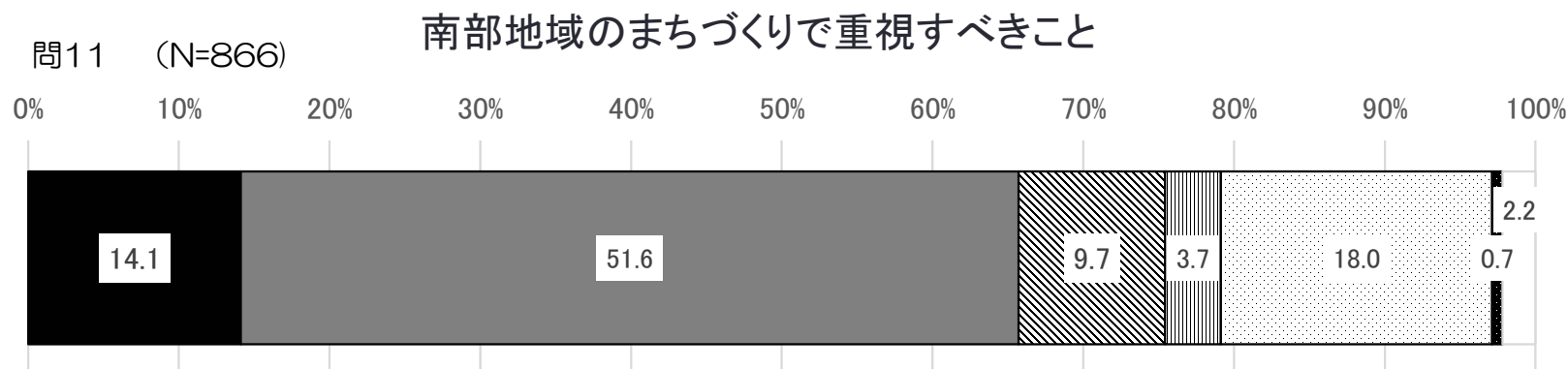
- 「建物が建てられる場所と、農地として保全する場所に計画的に区分すべき」という回答が多く得られました。
- また、自由記述等でも、国道170号沿道の周辺環境について問題意識を抱えている回答が多く見られました。



市民意向調査 問11

南部地域のまちづくり

生活維持のための土地利用と農地保全を計画的に行うべきという回答が多くなっています。



- 良好な自然環境や営農環境を維持するため、開発を制限する
- 生活に必要な店舗などの施設を受け入れる場所と、農地として保全する場所とを計画的に区分し規制誘導する
- ▨ 観光や交流などを活発にするため、幹線道路沿道や集落周辺など区域を限定して開発を進める
- ▨ 特に方策を立てる必要はない
- ▨ わからない
- その他
- 無回答

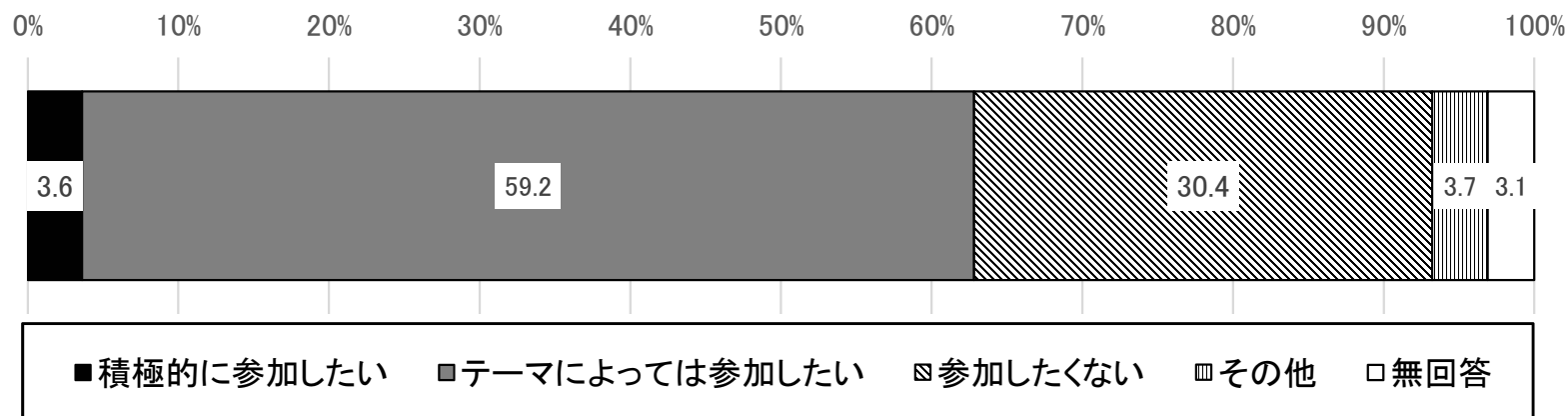
市民意向調査 問12

まちづくりへの参加意向

「積極的に参加したい」と「テーマによっては参加したい」が合わせて約6割、「参加したくない」が約3割となっています。

このことから、市民の参加しやすい仕組みづくりが必要です。

問12 (N=866)

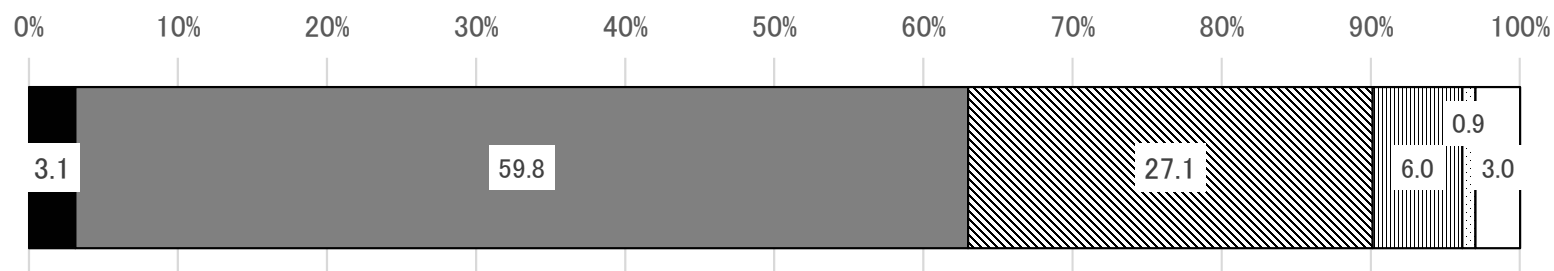


市民意向調査 問14

都市計画道路や都市計画公園の整備について

都市施設(道路、公園など)の整備の進め方については、必要性や緊急性を考慮し、メリハリをつけて進めることが求められています。

問14 (N=866)



- 財政状況に関わらず、計画に沿って整備を勧めるべき
- 必要性や緊急性が高いものは整備を進め、逆に低いものは計画を見直すべき
- ▣ 新たな整備はごく最小限にとどめ、老朽化したものが安全に使えるように維持・改修を中心に進めるべき
- ▣ わからない
- ▣ その他
- 無回答

市民意向調査 問15

和泉市の地域資源について

(1) 環境など

- 自然環境(北から南まで場所はさまざま)
- 黒鳥山公園

(2) 歴史・文化など

- だんじり祭り
- 池上曾根遺跡などの歴史文化遺産
(和泉黄金塚古墳、信太の森、松尾寺、泉井上神社など)

(3) まちなみ、その他

- 和泉中央駅周辺の美しいまちなみ
- 農業、農産物
- ガラス細工

調査結果からみた和泉市

- * 古くから形成されたまちとトリヴェール和泉などの新しく開発されたまちで構成されています。
- * 歴史・文化を大切にしているまちです。
- * 産業を支える都市基盤があります。
- * 緑と調和したまちなみの保全が求められています。
- * 地域の暮らしを支える生活基盤の適切な整備と維持・保全が求められています。
- * 南部地域では、緑と調和した持続可能な集落の形成と国道沿道のまちづくりが急務となっています。